

令和7年度 施設管理運営事業評価票(令和6年度実施分)

1 評価対象施設

公の施設の名称		宝塚市立地域利用施設 美座会館			
所在地		宝塚市美座2丁目10番1号			
指定管理者	団体名	美座会館管理運営委員会	指定期間	開始日	令和3年4月1日
	所在地	宝塚市美座2丁目14番13号		終了日	令和8年3月31日
選定方法		非公募	評価実施年		指定期間5年のうち4年目
施設設置目的		地域社会における市民相互の交流及び相互扶助並びに市民の主体的な学習活動等を促進し、連帯感のある新しいコミュニティづくりに資するため。			
主な実施事業		会館管理運営事業			

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用回数	回		961		263		958		350
b 稼働率	%		18.7		19.1		22.1		8.1
c									
d									
e									

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区 分		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算
収入計	A	2,568	1,883	2,427	2,407
指定管理料		241	241	241	241
利用料収入	C	1,860	674	1,980	2,154
自主事業収入		0	0	0	0
その他		467	968	206	12
支出計	B	2,306	2,649	2,507	1,941
指定事業費		2,306	2,649	2,507	1,941
内、人件費	D	493	488	618	648
内、再委託料	E	294	292	400	376
自主事業費		0	0		0
事業収支	A-B	262	(766)	(80)	466
利用料金比率	C/A	72.4 %	35.8 %	81.6 %	89.5 %
人件費率	D/B	21.4 %	18.4 %	24.7 %	33.4 %
再委託費比率	E/B	12.7 %	11.0 %	16.0 %	19.4 %

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。

・着色セルは、自動計算としている。

・事業費は、前年度以前の決算を記載する。

補足説明	
------	--

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
① サービスの履行の確認	法例に基づいた点検、報告の実施、個人情報への配慮、保守点検、清掃等の日常業務、緊急・災害時の市への円滑な連絡と協力等、業務の実施状況についての評価を行う。	A	A
② サービスの質の評価	事故防止、安全確保、環境への配慮、利用者に対する接遇、苦情処理への適切な対応等、利用者に提供するサービスの質の水準を評価する。	A	A
③ サービスの安定性の評価	専用の口座、帳簿等を備え、収支計画に沿って適切に経理、予算決算処理がなされているか評価を行う。	A	A
指定管理者所見 (成果、課題等)	法令に基づいた点検及び報告の実施、保守点検、清掃等の日常業務の遂行、災害時の避難訓練の実施、施設内の安全の確保、事故防止に心がけている。 会館内の修繕及び樹林(低木)の剪定及び庭園の管理(月一回役員等)コロナ禍の影響による会館内の斉唱及び除菌(テーブル・ドア・便器等)		
施設所管課所見 (成果、課題等)	指定管理者において、会館内の軽微な修繕を独自に行っていただき、経費節減に努めている。 また、コロナ禍は収束したが、毎日、会館内のテーブル、ドアノブ、便器等の消毒、除菌を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染予防を徹底している。 今後ともきめ細やかな管理運営を継続されることを期待する。		
前年評価	A	総合評価	
		A	

※評価区分

評価基準:	A (優良)	= 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	B (良好)	= 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C (要改善)	= 協定書、仕様書等に定める要求水準を満足していない。
総合評価:	A (優良)	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B (良好)	= 優良、要改善以外の評価
	C (要改善)	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。